

最優秀賞

神奈川県共同募金会会長賞

私達にできることは

函嶺白百合学園小学校

六年 西堀 愛 禾

私は二〇二四年一月一日に起こった能登半島地震をきっかけに何か私達にできることはな
いかと学校で話し合い、その結果募金活動を行うことにしました。活動場所は通勤通学の人
の多い小田原駅と学校の最寄り駅である箱根の強羅駅の二カ所で学校全体で手分けをして行
いました。募金活動は初めての経験だったので緊張していましたが、みんなで声を合わせて
呼びかけることができました。声を上げ続けていると一人、また一人と足を止めて募金に協
力してくださる方々がいました。そして私達の前を立ち去る前に「募金活動、がんばってね。」
という言葉をかけてくれる方もいました。だんだんと募金箱の重みを感じるたびにとてもう
れしく、マスクの下で少し笑みがうかび心が温かくなりました。その後もみんなで声を合わ

せて一生けん命がんばりました。小田原駅はターミナル駅なので電車から降りるお客さんがたくさんいて、ちようど帰宅時間になると募金してくださる方が最も多かったです。活動していると人とのコミュニケーションがたくさんあり、私はマスクをしていたので表情を分かりやすくし、感謝の気持ちを大きく表現するように意識していました。夕方の四時頃から五時近くまで駅に立っていてとても寒かったけれどその時、寒さのことは何も感じないくらい私は夢中だったんだなと思います。

私はこの活動を通してたくさんの方の温かさや優しさを受け取ることができ、貴重な体験でした。社会のために役立つことができてよかったです。その募金が能登半島の方々に届いて少しでも助けてあげられたらなと思います。私達にできることは小さな事だけれどこのような活動をする事で一人でも多くの人に喜んでもらえたらうれしいです。